

子撫地区意見交換概要

日時 平成 30 年5月 22 日(火)

場所 東部公民館

出席 24 名

No.	発言要旨	市長回答要旨
1	市営住宅は、どのくらいの入居率か？空き家がたくさんあり、入居率も少ないなら市営住宅の見直しをすればと思った。	市営住宅は、現在いっぱいである。
2	学校は単なる公共施設ではなく、地域で果たしている公共的役割は大変大きい。地区では、全世帯が教育後援会費を払っており、地区全体で学校を支援している。複式学級になれば、統廃合するという話だが、行政効率だけの問題だと思う。教育面では、少人数でもよいと思う。複式学級にしないように、市費で講師をつけばよい。国や県との調整があるかもしれないが、将来の人口を減らさないために、小学校を地域にのこすことを考えてほしい。市は、多角的に検討する立場で取り組んでほしい。	東部小学校の話だと思うが、複式学級になる場合には統廃合を考えることになる。現在は、ぎりぎりのところで踏みとどまっている。学校は普通の公共施設ではないということは理解しているが、生徒数が少なすぎることも、子どもたちにとってあまり良くない教育環境だと思っている。中 1 ギャップの問題があり、小規模校から中学校に入ると、非常にストレスを感じる生徒もいるようだ。様々な考え方があると思うので、いろいろな意見を聞き参考にしたい。いろいろな角度からしっかり考えていく。
3	小矢部は「メルヘン」ということで、「メルヘン建築」でしてきたところがあるが、メルヘン建築の修理費用は、普通の建物に比べると、割高になると思う。メルヘン建築についても公共施設再編を進めていかないといけないと思う。	公共施設再編計画の中では、メルヘン建築も他の施設と同様に進めることになっている。個人的には、メルヘン建築は観光資源としても認知度もあるので、できることなら残していきたいと思っているが、再編計画の中では、解体すべきものは解体することになる。
4	稲葉山にレストランができたが、稲葉山へ行くバスはあるのか。山道を運転できない人もいるので、バスがあればよいと思う。	現在、稲葉山へ行くバスはない。数年前に民間業者がアウトレットモールから稲葉山へ定期的にバスを出していたが、乗客が少なく運行をやめられた。市でバスを走らせるかどうかは、検討しなければいけない。
5	家の近所でもイノシシ等の害獣がたくさん出ている。家の裏山ではカモシカまで出ている。市の駆除費の予算を増やしてもらい、大変喜んでいる。イノシシも上手く解体すれば、天然の肉なので、美味しいと思う。駆除することも大事だが、自然の恵みとして食べることも大切だと考えている。農協、各種団体、市内飲食店などと連携し、市をあげてジビエ料理の提供に取り組んでほしい。	イノシシは、数年前から大きな問題となっており、毎年、予算の拡充をしてきている。罠で捕まえた後に、人力で穴を掘り埋めることが大変なので何とかして欲しいという要望が多かった。そのため、今年度は運搬し、エコクリーンセンターで焼却することにした。捕まえてジビエ料理にする発想もあり、羽咋市や白山市などに視察へ行っている。しかし、数が揃わないこと、野生動物で衛生面の問題などがあり、進んでいないのが現実である。小矢部市だけでは、問題解決は難しい。採算には 10,000 頭ぐらいが必要で、市単独では厳しい。ジビエ料理はこれからの課題で、呉西6市で議論していきたい。

No.	発言要旨	市長回答要旨
6	<p>土砂災害ハザードマップのがけ崩れ警戒区域となっている所に住んでいる。豪雨時には、山砂も流れてきている。水が流れてくるルートも変わってきていて、非常に心配している。危険なのはわかっているので、市ではなく県が担当かもしれないが地すべり対策をすすめてほしい。県でボーリングなどを行い調査されていた。</p>	<p>急傾斜地は、県が指定する。市も一緒に現場を見て、危険箇所を指定していく。県は、家屋数、斜面の長さ、角度などの基準をもっており、基準を満たせば県で調査や工事をする。県がしないところは、市の単独事業で工事している。</p> <p>地すべりの危険性があるということなので、市で現場を見て、県にも状況を伝える。</p>
7	<p>前回のタウンミーティングで桜町地区内の用水路の補修について市でも考えてほしいとお願いしたところ、本年、市が75%負担してくれる制度をつくってもらった。非常にありがたいと思っている。</p> <p>また先日、5月3日に用水路から水が溢れていた。自転車や切った木が水路に捨てられていた。市に相談すると、建設課が撤去の協力してくれた。感謝している。</p>	<p>お褒めの言葉ありがとうございます。用水路の補修について、農村整備事業で対応できないところは、30年度に市の単独事業で対応した。</p>
8	<p>西中野、桜町は、都市計画区域に指定されている。西中野には都市計画道路の計画があるが、実施されていない。今後の展望を聞きたい。</p>	<p>都市計画道路について、県にも重点要望として要望している。今は、調査をしているところである。国、県と一緒にしなければいけない事業なので、しっかりと要望していきたい。</p>
9	<p>人に来てもらうには、魅力のある街で食や住が大事であり、特に食が重要だと思う。稲葉メルヘン牛の頭数を増やし、市内でもっと食べられるようになればよいと思う。流通を意識し、全国に広めていくことが大事だと思う。</p>	<p>メルヘン牛は、今は80頭体制のため、ほとんどが市外へ流通している。市内でも多く流通するために、110頭体制まで増やそうとしている。そうなれば、市内でメルヘン牛を提供する飲食店もできてくる。何とかそこまでいきたいと思っている。</p>
10	<p>夢構想の「二地域居住タウンおやべ構想」は、小矢部市はポテンシャルが高いと思うので、小矢部市でも東京でも住めるのは、よいと思った。ぜひ、いろいろな方法で夢のある小矢部市を作ってほしい。</p>	<p>人口問題については、日本全国で減少する中で人口確保をしていくには、一極集中を打破しなければいけない。小矢部市のポテンシャルは高いので、特色を出し、魅力のある安心感のあるまちづくりをしていけば、「終のすみ家は小矢部市」という定住の波は起こると思っている。時間をかけて、しっかりとやっていきたい。</p>
11	<p>ビジネスホテルがないので、ぜひホテルを誘致してほしい。</p>	<p>ホテルについては、市をあげて誘致している。</p>